

# 美術科学習指導案

日 時 平成21年9月11日(金) 5校時  
場 所 美術室  
授業学級 盛岡市立仙北中学校 1年 組  
(男子 名、女子 名、計 名)  
授 業 者 教諭 福田 勝雄

1 題材名 「萬鐵五郎と雲」 (鑑賞)

2 題材について

(1) 教材について

美術は、様々な対象・事象から、よさや美しさなどの価値や心情を感じ取り、それを求め続けようとする豊かな心を育むために必要な教育である。また、美術と生涯学習との関係を考えてとき、生きがいとして創作活動にたずさわるだけでなく、美術館や博物館等の施設を訪れ、自らの価値観をもち、豊かな人間性を求める美的愛好心を持つ人が多くいることから、大切な教科であるといえる。

ところが、学校教育における美術の授業時数は少なく、そのうえ、表現活動を優先し鑑賞活動に消極的になっている現状にある。少ない授業時数とはいえ、中学生の多感な時期に、鑑賞活動を通して、よさや美しさを味わう具体的な体験を重ね、生涯学習の基礎・基本を学習させる必要があると考える。

特に、新学習指導要領の第一学年の内容において、「イ 身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高めること」とある。ここ、岩手にもすばらしい芸術作品や美術館などの施設があることから、鑑賞の授業を通して施設を利用し、生涯教育としての美術を愛好する心を育みたいと考える。

本校の一年生にとって、今回が初めての鑑賞授業となる。そこで本題材では、我々が継承していかなければならない郷土の作家でもあり、親しみやすく、いろいろな意見が出しやすいだろうと考え、萬鐵五郎の「雲のある自画像」を対象として選んだ。自画像の頭上にある雲に着目しながら、新学習指導要領の共通事項「ア 形や色彩、材料、光などの性質やそれらがもたらす感情を理解すること」をポイントにして、形と色彩の2つの要素に視点を絞って鑑賞の仕方を体験させ、今後の鑑賞授業の基盤をつくりたい。

(2) 生徒について

アンケートによる事前調査から、岩手県立美術館の存在を知っている生徒の数は35名中26名と全体の74パーセントを占める割合であった。また、実際に行ったことがあると答えた生徒は、15名と42パーセントの割合であった。日常生活の中で見かける美術作品に興味があると答えた生徒は24名で、美術館に行ってみたいと思っている生徒が22名と美術に興味を抱いている生徒は多い。この鑑賞授業をとおして15名以上の生徒が、県立美術館に興味を持ち、足を運んでくれることを期待したい。

授業では、自分と仲間の感じ方の違いやよさに気づき、それを受け入れながら、自分の価値意識や考えを深く追求したり広めたりすることを目指すために、本校の学習の決まり十箇条の「4 私語をしないで話をよく聞く。」「8 大きい声ではっきりと発言する。」に重点をおき、中学校3年間の鑑賞授業の基礎を築きたい。

### (3) 指導について

#### ①「教材とのかかわらせ方」について

形と色彩の2つの要素に焦点を絞って鑑賞の仕方を学習するために、元の図版を加工し、「線画の作品」とオリジナルの「雲のある自画像」と2種類の図版を順に提示する。形から感じ取ったことと、色彩から感じ取ったことの相違点や自画像の上にある雲をいろいろな見方で鑑賞できるように工夫し、主体的に授業に取り組む姿勢をつくりたい。

#### ②「友達とのかかわらせ方」について

一人ひとりの知識や生活体験の違いから、ものの見方や感じ方が異なるので、他者との関わり合いの中で深めさせたいと考える。互いの意見を伝え合うことで、仲間の感じ方の違いや良さに気づき、それを受け入れながら、自分の価値意識や考えを深く追求したり広めたりすることを目指したい。そこで、一人ひとりの意見や考えは、みんなで受け止めるよう指導して、自信を持って発言することで、仲間とともに問題を共有して考えていく楽しさや、他者に認められる自己肯定感を育みたい。

### 3 題材の指導目標

- ①積極的に作品に関わり、感じ取ろうとする (関心・意欲・態度)
- ②意欲的に発言したり、仲間の意見を聞いたりして作品の見方を深めることができる (鑑賞の能力)

### 4 指導計画

( 題材 ) 「萬鐵五郎と雲」 ( 1 時間 )

- ①みんなで萬鐵五郎の「雲のある自画像」を鑑賞する・・・1時間(本時)

### 5 本時の指導

#### (1) 本時の目標

- ①積極的に作品に関わり、感じ取ろうとする。 (関心・意欲・態度)
- ②意欲的に発言したり、仲間の意見を聞いたりして作品の見方を深めることができる (鑑賞の能力)

#### (2) 本時の評価規準と具体的評価規準

	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する生徒への手だて
関心 意欲 態度	作品から多くの要素を見つけ出し、意欲的に作品を感じ取ろうとしている。自分の経験をもとに考えている。	作品に描かれた要素を見つけ出し、自分なりの見方で作品について考えようとしている。	作品に描かれた要素につながるヒントを伝える。
鑑賞の 能力	作品から感じ取ったことを積極的に発言したり、聞いたりして、作品の見方を深めることができる。	作品から感じたことを発言したり、聞いたりして自分なりの見方で作品をみることができる。	他者の発表を繰り返すなどして感じ取らせる

(3) 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1 岩手県の有名なものについて発表する。 2 学習課題の設定 萬鐵五郎作品を鑑賞する。	・岩手を他県の人に紹介するということ をイメージして、特産物などを発表する。 ・岩手の有名な芸術家は？  ・郷土の作家「萬鐵五郎」の存在を知る。	・はじめての鑑賞授業のために、発表しやすい雰囲気をつくる。 (アイスブレイキング)
作品の見方を知り、仲間と共に感じ方を深めよう			
展開 35分	3 課題解決の見通し  4 課題追求 ①「雲のある自画像」 (線画に加工した作品) を鑑賞する。  個々に発表する。  ②自画像の頭の上にあるモノは いったい何かグループで話し 合う。  グループ発表する。  ③「雲のある自画像」 (オリジナル)を鑑賞する。  個々に発表する。	・萬鐵五郎の作品「雲のある自画像」を もとに授業を進めていくことを理解 する ・発見したことや感じたこと、考えたこ とをプリントに書く  ・自画像の形から 〔見えたこと〕 〔感じたこと〕 を発表する。 〔考えたこと〕  ・4人グループをつくり、話し合いなが ら考える。  ・自画像の色彩から 〔見えたこと〕 〔感じたこと〕 を発表する。 〔考えたこと〕	・大きな図版で提示して全員が鑑賞でき るようにする  ・作品を見つめる時間を充分にとる  ・個々の発言から対話を組織化していく  ◎積極的に作品に関わり、感じ取ろうと することができたか (関心・意欲・態度)  ・グループで進行役、まとめ役を中心に 話し合うことができるようにする ・考えるべきポイントやヒントを与える。  ・個々の発言から対話を組織化していく  ◎意欲的に発言したり、仲間の意見を聞 いたりして作品の見方を深めることが できたか (鑑賞の能力)  ・板書したことを整理して理解させる。
終末 10分	6 学習のふりかえり  7 萬鐵五郎の他の作品紹介	・自己評価と本時の授業の感想を書き、 発表する。  ・岩手の画家 萬鐵五郎の作品をみなが ら鑑賞する興味をさらに抱かせる。	・他の発表を参考に、本時の学習を理解 させる。

(4) 評価

①積極的に作品に関わり、感じ取ろうとしているか

(関心・意欲・態度)

②意欲的に発言したり、仲間の意見を聞いたりして作品の見方を深めることができたか (鑑賞の能力)